



どのような未来を目指すための事業か

観光地アクセスの強化を図るため

道路を拡幅します

地元の声

- ・別荘地があり、週末には避暑を求めて観光客の歩行者が増えるため、歩道の設置と円滑な車のすれ違いができるよう、2車線の道路整備をお願いしたい。（地元住民）

事業前

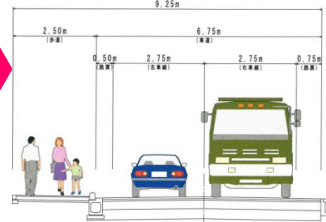
- ◆道路が狭く、一部で車両のすれ違いが困難なため、円滑な通行に支障があります。
- ◆浅間山も近く、火山噴火時の迅速な避難、救助活動を行う上での支障となります。
- ◆周辺には別荘地が点在していますが、歩道も未整備で歩行者も危険な状態です。



事業前の状況

事業後

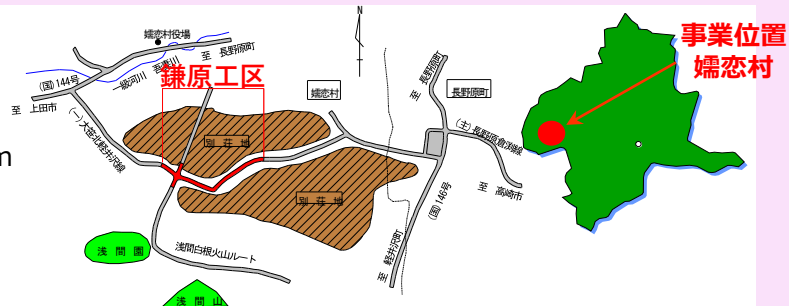
- ◆車道部が2車線となることで、全区間で車両同士のすれ違いが可能となり、円滑な通行が確保されます。また、歩道が整備されることで、歩行者の安全が確保され、散策や周遊性が向上します。



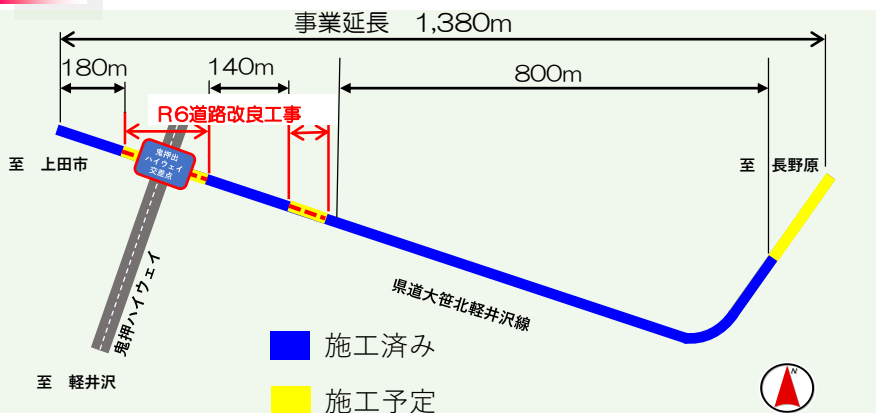
事業後のイメージ

事業の概要

- 事業箇所： 婦恋村鎌原
- 事業内容： 現道拡幅
延長 1,380m 道路幅 9.3m
- 事業期間： 令和23年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は用地買収及び道路改良工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了